

ロジスティクス環境シンポジウム ～取引条件の見直しによる環境負荷とコストの改善～ 開催要領

1. 趣 旨

京都議定書の国別削減約束の達成に向けて省エネ法が改正され、運輸（貨物）分野においては、運輸事業者に加えて荷主となる事業者に対しても、省エネの取組みを義務付ける法律が2006年4月より施行されることとなった。

このような状況のもと、製造業・流通業・物流企業間の取引条件を見直すことによるCO₂等の環境負荷の低減、また、輸送コストや道路交通に与える影響に係わる認識を関係者で共有することが本シンポジウムの趣旨である。

2. 概 要

■日 時：2006年2月3日（金） 13:30～16:50

■会 場：アイビーホール青学会館／東京・渋谷区

■参加対象：製造業、流通業、物流企業及び関係団体等

■参加料金：無 料

■参加人数：100名

■主 催：(社)日本ロジスティクスシステム協会

■後 援：経済産業省、国土交通省、(社)日本経済団体連合会、(社)日本物流団体連合会
(申請予定)

3. プログラム構成（案）

13:30～13:35 (5分)	開催にあたって「ロジスティクス環境会議からのメッセージ」 小西 俊次 氏／ロジスティクス環境会議 企画運営委員会 副委員長 広報・普及専門委員会 委員長 愛知陸運(株) 代表取締役 専務
13:35～14:20 (45分)	講演 1 「環境負荷低減と物流効率化を促進する商慣行のあり方と道路交通」(仮) 根本 敏則 氏 一橋大学 大学院 商学研究科 教授
14:20～15:05 (45分)	講演 2 「ミルクランの実施によるCO ₂ とコスト低減の取組み」 澤村 光一 氏 日産自動車(株) SCM 本部 調達・生産物流グループ 主管
＜休憩（15分）＞	
15:20～16:50 (90分)	パネルディスカッション 「環境負荷低減とコスト低減を実現するための荷主企業(発・着)と物流企業の連携」(仮) 【主な論点】 ・取引条件に起因する物流上の問題点（コストとCO ₂ など） ・課題解決に向けたアプローチ（店着価格制、時間指定、短納期、リードタイム短縮など） ・その他 ＜コーディネータ＞ 根本 敏則 氏 一橋大学 大学院 商学研究科 教授 ＜パネリスト＞ 浜辺 哲也 氏 経済産業省 商務情報政策局 流通・物流政策室長 大西 博文 氏 国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路研究部長 林 克彦 氏 流通科学大学 商学部 教授 上山 静一 氏 イオン(株) 環境 社会貢献部 部長 田中 孝明 氏 (株)サカタロジックス 代表取締役 伊藤 誠 氏 プロクター・アンド・ギャンブル・ファーイースト・インク カスタマーロジスティクスグループ マネージャー
16:50	閉会

ロジスティクス環境会議に関する情報は以下HPをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/green/>

以上